



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場会社名 株式会社イワキ 上場取引所 東
 コード番号 6237 URL <http://www.iwakipumps.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤中 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松田 健二 TEL 03-3254-2931
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,394	—	771	—	1,086	—	779	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 14百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	104.12	—
28年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	24,441	15,497	63.3
28年3月期	25,438	16,075	63.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,473百万円 28年3月期 16,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	78.80	78.80
29年3月期	—	30.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	32.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日開示の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異、平成29年3月期通期連結業績予想の修正、平成29年3月期末配当予想の修正、及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」を合わせて御参照下さい。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,871	0.2	1,594	4.0	2,067	3.8	1,527	△0.0	204.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日開示の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異、平成29年3月期通期連結業績予想の修正、平成29年3月期末配当予想の修正、及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」を合わせて御参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	7,484,370株	28年3月期	7,484,370株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	18株	28年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	7,484,362株	28年3月期2Q	-株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会)

当社は、平成28年11月30日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料は、開催後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く経済環境は、長引く円高や、米国を除く海外経済の回復力の弱さなどから不透明感が先行しているものの、円高の進行には歯止めがかかっている状態で、懸念されていたイギリスのEU離脱についても影響は限定的との見方が強く、また国内では熊本地震の回復需要などにより、景況感としては横ばいで推移している状況であります。しかしながら先行きについては、為替の不透明感が製造業を中心とした輸出関連企業収益の下方修正に直接的な影響を与えており、設備投資についても底堅いものの継続して抑制的な見通しとなっております。

こうした状況の下、国内においては現場営業によるユーザーの囲い込みを図り、「競合に勝つ」を基本方針に活動してまいりました。その結果、主力6市場のうち、表面処理装置市場が軟調、新エネルギー市場は家庭用燃料電池向けの落ち込みが大きく不調であったものの、化学市場は主要顧客向けが好調に推移し、医療機器市場においても人工透析装置、生化学分析装置向け需要が伸び、半導体・液晶市場及び水処理市場も堅調に推移致しました。これらにより国内向けの売上高は77億77百万円となりました。

一方、海外向け売上においては、子会社であるIwaki America Incorporated(米国)は化学市場が冷え込んでいたものの、水処理市場等が堅調に推移したこと等により、売上高は21億28百万円となりました。Iwaki Europe GmbH(ドイツ)は水処理市場が軟調であったものの、半導体・液晶市場が好調を維持したこと等から、売上高は10億7百万円となりました。Iwaki Singapore Pte Ltd.(シンガポール)は主力市場である半導体・液晶市場及び水処理市場を中心に全般的に好調が持続しており、売上高は1億37百万円となりました。IWAKIm SDN. BHD.(マレーシア)は半導体・液晶市場における大型案件が貢献したことにより好調を維持し、売上高は65百万円となりました。その他地域においては、中国の半導体・液晶市場が好調に推移し、また台湾の表面処理装置市場で回復が見られたこと等により、子会社を除く海外向け売上高は12億79百万円となりました。

これらの結果、当社グループ全体では医療機器市場が好調に推移し、水処理市場、半導体・液晶市場及び表面処理装置市場が堅調に推移しました。また、化学市場については軟調に推移し、新エネルギー市場は不調でありました。

製品別では、マグネットポンプが、主に国内医療機器市場向けが好調であったため堅調に推移し、定量ポンプについても米国水処理市場が牽引した結果、堅調に推移しました。また、国内向け全市場においてソリューション提案をしているシステム製品についても、堅調に推移しました。一方、回転容積ポンプとエアポンプは軟調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は123億94百万円となりました。利益面では、営業利益は7億71百万円、経常利益は10億86百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億79百万円となりました。

なお、平成28年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

また、当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は195億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億85百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が8億48百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が7億95百万円、有価証券が4億71百万円減少したことによるものであります。固定資産は49億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が7億71百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、244億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億96百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は67億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億92百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2億65百万円増加した一方、未払法人税等が1億46百万円、その他が4億17百万円減少したことによるものであります。固定負債は22億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少いたしました。これは主にリース債務が12百万円、繰延税金負債が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、89億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億18百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は154億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億77百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が5億98百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.3%(前連結会計年度末は63.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日開示の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異、平成29年3月期通期連結業績予想の修正、平成29年3月期末配当予想の修正、及び剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,727,118	6,575,188
受取手形及び売掛金	7,390,085	6,594,329
電子記録債権	1,021,204	1,583,297
有価証券	575,408	103,559
商品及び製品	1,976,735	1,726,045
仕掛品	3,204	22,355
原材料及び貯蔵品	2,289,258	2,190,153
繰延税金資産	502,951	474,325
その他	230,499	257,051
貸倒引当金	△27,625	△23,174
流動資産合計	19,688,840	19,503,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,605,913	4,642,023
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,453,920	△3,497,857
建物及び構築物(純額)	1,151,992	1,144,166
機械装置及び運搬具	2,125,158	2,114,598
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,887,150	△1,882,098
機械装置及び運搬具(純額)	238,007	232,499
工具、器具及び備品	1,495,223	1,551,685
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,267,717	△1,324,066
工具、器具及び備品(純額)	227,506	227,618
土地	1,051,883	1,043,172
リース資産	498,616	468,765
減価償却累計額	△291,543	△274,423
リース資産(純額)	207,073	194,341
建設仮勘定	9,277	29,241
その他	113,423	14,305
減価償却累計額	△42,025	△9,020
その他(純額)	71,397	5,284
有形固定資産合計	2,957,138	2,876,325
無形固定資産		
のれん	37,490	24,306
商標権	103,111	82,126
その他	92,942	110,974
無形固定資産合計	233,544	217,407
投資その他の資産		
投資有価証券	2,286,020	1,514,125
繰延税金資産	15,061	73,190
その他	257,660	257,292
投資その他の資産合計	2,558,742	1,844,608
固定資産合計	5,749,425	4,938,341
資産合計	25,438,265	24,441,473

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,886,904	4,152,056
短期借入金	833,470	744,350
リース債務	85,762	85,525
未払法人税等	394,520	247,757
賞与引当金	720,673	689,275
役員賞与引当金	—	24,147
製品保証引当金	92,157	95,425
その他	1,106,122	688,134
流動負債合計	7,119,610	6,726,673
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	136,080	123,606
繰延税金負債	77,862	66,521
退職給付に係る負債	957,580	956,937
資産除去債務	201,923	202,917
その他	569,452	566,920
固定負債合計	2,242,900	2,216,903
負債合計	9,362,510	8,943,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,250	1,018,250
資本剰余金	638,250	638,250
利益剰余金	13,760,504	13,949,978
自己株式	—	△30
株主資本合計	15,417,004	15,606,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371,039	183,833
為替換算調整勘定	501,419	△96,588
退職給付に係る調整累計額	△240,899	△220,007
その他の包括利益累計額合計	631,559	△132,762
非支配株主持分	27,191	24,211
純資産合計	16,075,755	15,497,896
負債純資産合計	25,438,265	24,441,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,394,681
売上原価	8,368,940
売上総利益	4,025,740
販売費及び一般管理費	3,254,433
営業利益	771,307
営業外収益	
受取利息	13,635
受取配当金	20,367
持分法による投資利益	148,383
為替差益	112,886
その他	37,721
営業外収益合計	332,994
営業外費用	
支払利息	8,981
その他	8,800
営業外費用合計	17,781
経常利益	1,086,519
特別利益	
固定資産売却益	92
特別利益合計	92
特別損失	
固定資産除却損	726
特別損失合計	726
税金等調整前四半期純利益	1,085,886
法人税等	303,883
四半期純利益	782,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,761
親会社株主に帰属する四半期純利益	779,242

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	782,003
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△187,205
為替換算調整勘定	△438,532
退職給付に係る調整額	20,891
持分法適用会社に対する持分相当額	△162,331
その他の包括利益合計	△767,177
四半期包括利益	14,826
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	14,920
非支配株主に係る四半期包括利益	△93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。